

重点項目Ⅲ

一人ひとりが輝く！多様性を育む教育の推進

年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、すべての人が安心して暮らし、自立しながら支え合い、個性や能力を発揮して活躍し続けられる*「ダイバーシティとくしま」の実現に向けて、多様性を育む教育を推進します。

①個性が輝き、一人ひとりが活躍できる「特別支援教育」の推進

○個々の特性に応じた切れ目ない支援体制の充実

発達障がいを含めたすべての子どもたちが主体的に適切な行動を学ぶ「ポジティブな行動支援」*を軸として、学齢期を通じた切れ目ない「キャリア教育」を展開します。

早期から一人ひとりの適性を見だし、伸ばすことで、将来の社会的・職業的自立をめざした教育を推進します。



職業スキル向上と地域交流の場
「支援学校みまカフェ」



○みんなが主役！一人ひとりの才能や感性を生かす教育の推進



風船バレーで地域交流

障がいの種別や程度に関わらず、学齢期を通じて、文化・芸術・スポーツに親しみ、楽しむ機会を増やし、生涯にわたって、一人ひとりが個性や能力を発揮しながら、生活を豊かにすることができる教育を推進します。



○共生社会の実現に向けた教員の専門性の強化

すべての学校（園）において、特別な支援を要する幼児児童生徒が適切な支援・指導を受けられるよう、通常の学級をはじめ、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校等の「多様な学びの場」を担う教員の専門性を強化します。



②互いに尊重し、支え合う教育の推進

○多様性を認め合い、つながりを実感する人権教育の推進・充実

教職員のキャリアステージや新たな人権課題に対応した研修の推進や人権教育研究指定校での成果の普及、人権教育指導者用手引書の活用促進により、差別解消と人権尊重社会の実現をめざし、教育活動全体を通じて、「徳島県人権教育推進方針」に基づいた人権教育の充実を図ります。

学校・家庭・地域が一体となり、識字学級との交流やフィールドワークなど、地域から学ぶ機会の創出を図ります。

「中・高生による人権交流事業」や社会教育における研修会などの充実を図り、多様性を認め合う社会をめざし、人権問題解決に取り組む次世代や地域の人材の育成を推進します。



中・高生による人権交流集会



○子どもたちの未来を守る環境づくり



全国いじめ問題子供サミット
での発表

いじめや不登校などの諸課題や児童虐待などの脅威から未来ある子どもたちを守りぬくため、「子どもたちの主体的な取組」を充実します。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置促進、個々のニーズに応じた相談体制の充実等、悩みやSOSを受け止めることができる環境づくりを推進します。



③共に生きる、「多様な力」を育む教育の推進

○共生につなげる、帰国・外国人児童生徒に対する教育支援

帰国・外国人児童生徒に対して、日本語指導はもとより、学校生活や学習支援等の包括的支援を行います。社会への適応、経済的社会的な自立を図るとともに、すべての児童生徒を対象とした「多文化共生・異文化理解」に基づく教育を推進します。



○世界とつながる教育の場の創造

海外の学校からの教育旅行の受入や、学校間交流を充実させることにより、教育、文化、スポーツ等の幅広い分野において、世界の多様な文化との交流の中で自他の違いを尊重し、コミュニケーションを通じて、ともに問題を発見し解決する能力等、「国際感覚を育むための教育」を推進します。



徳島商業高校とシェーラベルク職業学校
(ドイツ・ニーダーザクセン州) との交流



富岡西高校と台湾新化高級中學
との交流